

陸の涯、海の淵

●登場人物表

白山

カトウユウキ

モモ

サノリヨウコ

マヒト

アヒト

ヒトコ

チョウ

ニシダ

ナカセ

ニシミヤ

カナイ

クロサワ

飲み込む動物

そのほか、ゲイ、オタク、ジャンキーたち、アル中のおっさんなどの、扇島に流れ着いた人々

●あらずじ

舞台はかつて工業地帯だったさびれた人工島、扇島。体の中の膜が原因で自殺しにやってきた白山は、道中で絵描きのモモと出会う。彼に死体を運ばされてたどり着いた扇島では、カトウとモモが「城」という建物を中心にコロニーを作っていた。扇島付近で発見した人間を持ち帰り、生きていれば仲間とし、死ねば火葬した。白山と生き返ったサノは、仕事を任せられ、張の予言を受ける。少ない人数でそれぞれが釣りや料理など任された仕事を務め、疑似家族のように生活していた。白山は子どもたちと釣りを一緒にしたり、カトウと島の運営について会議したりしているうちに徐々に城に馴染んでいく。

しかし、カトウが行政と手を組み、扇島に大量の人を呼び寄せるようになると、城の生活は社会的に、そしてシステムティックに変わっていく。一方、カトウの拡大方針に馴染めず幹部メンバーから外された白山はモモと畑作業をしているときに、奇妙な「飲み込む動物」に出会う。カトウはサノたちと共に扇島を自治体とするべく奔走し、島に新たにやってきた人たちはそのカリスマ性からカトウを慕う。しかし、行政にとって扇島への支援は、貧民を扇島に集約し抹殺するという計画の一部でしかなかった。飲み込む動物が死んだことでモモは城を去り、子どもたち3人はおながが痛くなった後死んでいった。カトウが1万人の住民の前で「扇島区」の独立を発表するその時、カトウ、白山、サノを除いた全住民が、工場群の排水の中毒症状で死ぬ。カトウは自殺し、海に入水した白山は、死んだ子供3人による、カトウのいくつかの思い出の上演をみる。再び陸に上がり、膜を捨てた白山は、動けなくなったサノと共にモモを探しに城を去る。全5幕18場

入場時に配布されるパンフレットには以下の文章が書かれている

「旧扇島西部における貧民コロニーの報告」 社会学部4年 白山浩二。

導入…2020年以降の急激な景気の後退は、路上に多くの貧民を送り出した。とりわけ、南東京から川崎市にまたがる京浜工業地帯のゴーストタウン化は、我が国の貧困情勢を顕著に映し出している。本論文では、路上に向かったと思われる貧民層の一部が、京浜工業地帯の川崎市の南端にある人工島旧扇島にて高度に組織化された貧民らによるコロニーの生成を報告し、その性格を検証するものである」

1幕1場 オープニング・ミナミの入り口

真夜中。扇島入り口の工場群を縫う廃道。打ち捨てられた車、自転車、その他ごみが辺りに散乱している。

背広の男が、舞台上を通り過ぎていく。そのあと、身なりの汚い、男二人が客席の後ろから歩いてくる。二人は二手に分かれて地面を見ながら何かを探している。

A どっすか、最近？

B いやー別に、なんもねーよ

A 俺思っんですけど、最近の若いやつってなんか割りに高い服とか着てねえっすか？

B え？

A なんか前、若いモノがあつて、で、かばんとか時計とか財布とか靴とか持ってたんすよ。したら、なんか一応持ってたジャケットが一番高かったっていう

B え、いくら？

A まあ、2万とか

B マジで？

A マジマジ

B 女？

A 男

B 男？！

A 男なんすよ。ヤバくないっすか？

B ヤベえな

A で、肝心の財布の中はマジですっからかんで。で、こっからなんすけど、「こいつなに金持ち？腹立つわあ」と思って、で、「何食ってんの金持ち」と思って、財布の中のレシート見てたんすよ

B うんうん

A マジで、おれのほうがいいもん食ってるわって、思いました

B え、マジ？そのレベル？

A そうなんすよ。昼ハンバーガー、夕方パン、夜中にカップ麺とか。マジでそんなんすよ

B へえー。

A そんな死にたくなるくらいブルーならさ、俺だったらさ、高い服とか買ってねえで高級中華とか、超高級焼肉とか、食ってみたいっすけどね。もったいねえよ

B まあやつぱりそうもいかねえんじやねーの？俺らみたいに服なんか丈夫で着られりゃいいってわけにもいかねえんだろ

A でもそーやって、外見だけ大事にしてっから、中身がこのざまなんすよね？（腐りかけた死体を持ち上げてBに見せる）

B それもう腐ってんじやねーかよ！臭えよ！

A 臭い？（嗅いで）金の香りならしますけどね

B 犬か、お前。犬の中でも名犬なのか

A 犬は、やだ

B なんで？

▶ なんか、小学校のときの友達が大飼ってたんすよ。ラブラドル。で、もうすつげえ人懐っこくて、めっちゃペロペロしてくるんですよ。で、すげえくつせえから、頭、殴ってやったんすよね。そしたら、なんか俺そんな強く殴ったつもりじゃなかったんだけど、超急所入っちゃったみたいで、右半身マヒになったんすよね。（右半身マヒになった犬のまねをする）こんなになって歩いてんすよ。涎垂らして。それがマジでトラウマ過ぎて、そこから犬はやなんすよねー

B あーね。（横たわる男を見つける。Aが見ていないのを確認する）じゃあ何がいい？豚？（話しながら死体の服のポケットを探る）

A 豚かあ。豚だったら食われる方じゃなくて、トリフ見つける方がいいなあ。あ、やっぱ麻薬見つける方で

B あの…トリュフな。トリフじゃなくて

A どっちでもいいよ

B その違いはね、大きい

A じゃあお前食ったことあんのかよ

B ええ、ないんじゃね？

A ないんじゃねって。自分のことでしょあんだ。ねえ、あんだ。あれ（Bの様子がおかしいことに気が付く）何してんのあんだ。ねえ、ね

え、ねえ、ねえ（と言いながらBに飛び蹴り）

B 何すんだよ

A 何すんだよ、じゃねえよ

B いつてえ

A 抜け駆けすか、先輩

B いてえ、マジで

A 俺にあんだけ「分け前は半半な」とか言ってたじゃないすか先輩

B 痛い、ここ、ここ痛い

A クズだなあマジで。あんだそんなだからマチじゃ生きらんねえんだよ

B あ、いたい、じゃねえ

A は？

B こいつ、生きてる！

A え、マジ？（男の耳元に）おい、聞こえるか。死んでんじゃないすか

B いや、まだ生きてるわこれ

A はあーあ。俺コロシはやなんだよなあ。頼むから勝手に死んでくれよ。10、9、8、7…

横たわっていた男である白山、がばっと起き上がる

B ほら、起きた

A はあーあ

白山 、、あ、あ、ああ、

B あ、こわい？

A 大丈夫。俺たちコロシはやんねえから

B 兄ちゃんは、何してんの？ここで

A まあ知ったこっちゃねえけど、とりあえずどっち行くの？

B マチに帰る？ミナトに出る？

A それともここで死ぬ？

B まあちようど今マチとミナトの半分つてとこだけど

A まあ、どっち行ってもあんたの勝手だけど

白山 …じ、自分は、ミー、ミナトに、行こうとか、お、思っていたんですが…

B あっちだ

A こっちまっすぐ行ったら、扇島の方だけど

B 仲間たちに会うかもなあ

A え、仲間って？

B ほら、いるじゃん、ジャンキーたち。車でよくここ通るさ

A ああ、え、こいつもジャンキー？

B どうせジャンキーだろ

A へえー、最近の大学生つーのは汚れてんなあ

白山 あ、あの、あ、ありがとうございます（白山、駆け出す）

B じゃあな、どもりの兄ちゃん

A 死ぬときは呼んでくれよな

2人の男退場。その後ろを、アクリイと獺の間のような動物が横切っていく。

1幕2場 オープニング2・朝の釣り

扇島。夜が明ける前の岬。岸に座って、三人の子ども（マヒト、アヒト、ヒトコ）が釣竿を垂らしている

アヒト 日いてえへんなあ

マヒト まだだろ

ヒトコ まだ4時やん。あと、30分は待たな

アヒト 寒ない？

マヒト さみい

ヒトコ 寒いなあ

アヒト っ、寄ろや

ヒトコ せやな

三人、ぴったり寄る

マヒト こんなに寄ったら、糸引っ掛かるじゃん

アヒト 絡まるかな

ヒトコ うーん

マヒト 絶対に絡まっちゃうよ

ヒトコ じゃあ、マヒトはそっち、私こっち

三人、別々の方向に、糸を垂らす。

ヒトコ やっぱ寒いわ。もうちょっと。寄る？

マヒト まあ、2人が寄りたかったら、別にいいけど

アヒト 僕はええよ、どっちでも

ヒトコ あんたら、照れてんの？

マヒト 何が？

アヒト そういうことちゃうわ

ヒトコ 別に寒いから寄ったらええだけの話やん

ヒトコ、真ん中のアヒトにくつつく

一人離れているマヒトは、じっと黙っている。が、

マヒト やっぱり、寒いかも

といって、アヒトに体を寄せる。

アヒト あ、太陽出てきた

ヒトコ ほんまや。おはようございまーす

アヒト おはようございまーす

マヒト おはようございまーす！！

口々に、おはようございます、とふざけながら叫んでいる

白山が舞台奥に登場する

白山 僕は自分の皮膚の中に、一枚膜がチョウっていることに気が付きました。この目で見たわけではないのですが、ある朝起きたとき、体全体を覆う皮膚の下に、ひとつなぎの切れ目のない膜がチョウり巡っていることを理解しました。そして僕は、それが僕とほかの人との壁だったんだ、だから誰とも通じ合えなかったんだとわかりました。それで僕は死のうと思ひ、この扇島にやってきたのです。

ヒトコ 交代で、いおや

マヒト え、なにそれ？

ヒトコ うちが「お」ってゆったら、アヒトが「は」ってゆって、「よ」はマヒトで、ほんで順番にゆうねん

アヒト ええで

ヒトコ じゃあいくで、せーの、「お」

アヒト 「は」

マヒト 「よ」

ヒトコ 「う」

アヒト 「ん」

マヒト 「ざ」

ヒトコ 「い」

アヒト ま

マヒト す

ヒトコ (少し笑いあつた後) せーの、

3人 おはようございまーす

3人、笑っている

2幕1場 白山、扇島にやってくる

スライドショー 「204X年」 「工業地帯↓ゴミ捨て場」

(これは白山が読み上げる) 「概要…扇島は京浜工業地帯の中央部に位置する、東京湾に突き出た工業用人工島だ。そこにはかつて石油やガラス工場、火力発電所など大きな工場が集積し、首都圏の経済発展を支えていた。しかし、2020年の東京オリンピック後、急速な景気の後退から工場の海外移転、閉鎖が急激に進み、京浜工業地帯は集積による効果減により加速度的に空洞化していった。2030年には工業用の鉄道が封鎖、さらに治安の悪化懸念により、買い手がつかずゴーストタウンと化した京浜工業地帯への一般道の通行が車両、人共に禁じられた。そして十数年が経ち、政府はあらゆるごみの最終処分場とした他、市井の人々は重い病氣や障害を抱えた子供や老人、事故・事件による死体、墮胎した水子、その他生死問わず捨てられないボディを廃棄する。捨てきれなかった、自分自身の命を捨てに来る人も多い。扇島は、まさに首都圏を支えるゴミ捨て場の、中央にある」

「第一幕 白山の話」

扇島に住みつくコミュニティの生活が営まれる拠点。中心にある小高い建物は城と呼ばれており、その周りに炊事場、食堂、火葬場、祭事など

が行われる広場などがある。広場には、まばらに中古の家具が散らばっており、ゴミが辺りに落ちてある。そこに白山が歩いてくる。何かを探し
てきよろきよろししていると、ゴミの山の奥に女の人が横たわっているのをみつける。一瞬ぎよっとし、しばらくじっと顔を見ている。

白山 マジで死んでる…

反対側の奥から、老女がこつちをみている。老女は、石を白山に投げて隠れる。白山は飛んできた方を探すが誰もいない。老女はもう一度、全く
別の方から石を投げ、隠れる。白山、ちよっとどうすればいいのか分からない。するとすぐ後ろに、モモが立っている

モモ おい

白山 (びびって) はい (振り向く)

モモ (大きめの声で) おい

白山 、、はい

モモ (冷たく、無表情で) 何しとんの、自分

白山 あ、あ、私西東京大学3年の白山と (白山はうまく喋れない)

モモ 白山君は何しとるん？こんなところで

白山 あ、実はですね、

モモ なんか、さつきからちよろちよろちよろしとったけど。なんか用？

白山 いやいやいや、そういうあの、違うくて、いや、違いましてですね、

モモ 違うくて、って日本語おかしいけど

白山 あの、この辺、この、辺りの地域って、その、自殺しに来る人みたいな、いるじゃないですか

モモ …で！？

白山 いや、まあ、その、僕は、あの、社会学の、ゼミの調査、あの、社会学の、まあフィールドワーク、っていのが、ありましてですて、

モモ ふーん。ニシダさん

ニシダ はい (先ほどの老女が、陰から出てくる)

モモ もう大丈夫やから、帰ってええよ

ニシダ でもその女の人のいいの？

モモ うん、大丈夫よ一旦。こいつにやらせるから

ニシダ　じゃああとでねもちゃん

モモ　うん。じゃあ、担いで

白山　え？

モモ　そこに、ぶっ倒れてる女の人、おるやろ？

白山　あ、はい

モモ　担いでくれへんかな？

白山　え？

モモ　え？…は？

白山　ああ、え、死んでる…

モモ　だからどうしたそれが？

白山　あ、はい。え、どこに

モモ　焼き場にきまつとるやろ

青い作業着を着たカトウ登場。ダンスホールレゲエをスピーカーで流しながら、タバコを吸って歩いてくる。

カトウ　ようもも、ヤーマン

モモ　おっす

カトウ　調子どない？

モモ　うん、さっき例のあのギャラリーのおっさんにおろしてきたわ

カトウ　ああ、あのインキヤラの「どうも、百武さん！」ゆうてるやつか

モモ　そうそう、あのテンガロンハットのな

カトウ　テンガロンハットとかさ、もう今時カレーパンマンくらいしか、日本で被ってるやつおらんやろ

モモ　テンガロンハットは、ハンバーガーキッドやぞ、カトウ

カトウ　どっちでもええわ。どう？メイクマニーした？

モモ　ああ、まあまあやな。来月末振り込みやって

カトウ　ふうん。気ええやん。おれも新作の家具、渋いやつ作ったで

モモ　おお、マジで？

カトウ 前言ったやんか。竹細工の暖色系のライト、絶対売れるって

モモ ああ。あ、もう作ったん？

カトウ せやで。俺仕事早いからなあ。アトリエあんで今

モモ おお。みたいみたい。

カトウ 「ほなアトリエ行こか」って言いたいとこやけど、気良くいきたいのはやまやまやーまんやねんけどさ、もも。そろそろ触れてええかな？

モモ うん

カトウ こいつ誰なん？

モモ お前だいぶ焦らしたな

カトウ (白山に) どう、がまん汁出てもうてる？

白山 あ、初めまして、白山と申します。西東京大学3年の：

モモ なんか、大学の勉強やかゆってんねんけど

カトウ ふうん。(しばらく白山をじっと見て) 何の勉強なん？

白山 あ、あの僕は、社会学の、あの、理論社会学ではなくて、あの、調査統計の、に基づき、フィールドワーク、現地調査ですね、それを踏まえることによって、より現地の人の視線を持ち合わせた、理解ができると、いうことです

カトウ ：モモ俺ら現地人やって。おもしろいやん

モモ らしいな

白山 あ、いや、えっと

カトウ まあ、ええけど。でもさ、なんやったつけ、名前

白山 あ、白山です

カトウ ああ、白山君。よろしく。俺カトウ

白山 はい、かとうさん

カトウ で、こいつがモモ

モモ よろしく(握手をする)

カトウ で、白山君。(おどけた口調で) 君はなにやらその、学問的な動機からここに来たとかほざかしたおしているようだけどもね。その、本当のところはどうなんだい？ 何しに来たんだい？

白山 あ、まあ、卒論で、あの、ほんとに、さっきは現地人とか言ってすみませんでした！ (頭を下げる)

カトウ …まあ、ええけど。ほんで、実際何したいん？

モモ　なんか、まあ人さらいと、書類作ったりとか

カトウ　せやな。大学生やし、なんかそういうルポ的なやつやる学問やってんやったら、できるやろ

白山　いや、ちよつとわかんないですけど。僕バイトとか全然やったことなくて

モモ　いいから早く動いて

白山　あゝゝ、はい

2 幕 2 場 城の上

スクリーンに、扇島の地図が映し出される

海（灰を捨てる場所、カトウがたばこを吸う場所、釣り場）、火葬場、城（やぐら、ソファアがあるスペース、会議部屋）、インフラ設計するバラック、炊事場、食堂、生活スペース、資材置き場）

カトウがソファアに座って、タバコを吸っている。モモと、女の死体を担いだ白山がやってくる

カトウ　ああ、おつかれさん

白山　はい（女の死体を下ろす）

カトウ　これで君も、城の一員やな

白山　ああゝ。城っていうのは？

モモ　この建物のこと、みんな城って言っとるんよ。まあぼろぼろの掘っ立て小屋みたいなもんやけど、せめて名前だけでも威チヨウろうってことで

カトウ　そうそう…どう思う？ここ

白山　あ、何もないと思ってきたんで、まさか、こんな、町みたいなのが、あるとはって、

カトウ　ってなるよな。やっぱ（満足そう）

モモ　俺とカトウで、一から作ったんよ

カトウ　しこしこ頑チヨウったで

モモ　しこりたおしたよな

カトウ　な。ちよつとお前、なんや、君、できそうな空気あるな

モモ　あるか？

カトウ　「あるか？」とか言うたんなや。俺もリップサービスで言ってるのに。

モモ はは、やっぱり

カトウ (間) 冗談やって。氣い悪した？

白山 いやいや、

カトウ えつとな、さつき通ってきた脇があ、みんなが寝てるところ。その手前に見えんのが、調理場。海で子どもが釣ってきた魚焼いたり、俺ともが街出て買ってきたもんでメシ作ってる。大体みんなでくってる。うん。子どもは、マヒト、アヒト、ヒトコ。みんな拾ってきたわ。血つながつてへんけどブラザー。渋いよな。この後ろにあるんが、焼き場な。

モモ お前みたいなの、死にぞこないをみんな拾ってくるんよ。いったん。そんで一日経って、生き返ったらここで働いてもらう。死んだら燃やす。

カトウ 燃やすときは、もともとなんやつけ、浄土宗やつけ、ニシミヤさん

モモ なんやつけ。浄土っぽいやつやな

カトウ せやな(笑) 浄土っぽいとこの坊主やったニシミヤさんがお経とかもろもろやつてくれるわ

モモ 寺がつぶれて、川崎駅のところへんでふらふらしとったから、連れて帰ったんよな

カトウ ばりあいつ輝いてるやつてな

モモ せやったな。薄汚いホームレスだらけのバスロータリーでな、すげえ輝いとったんよな

カトウ ボウズのハゲトックはええねん。あ、調理場の横の、バラックに、今カナイ君ていうこないだ拾ってきた元エンジニアにいろいろ電気とかのケーブルとか引く作業やつてもらってるわ

モモ 元IBMよ

カトウ そうそう。他にもいろいろ居るけど、けっこう切れてるやつらそろってんで

白山 おおお…

モモ 俺とカトウはな、軽トラでマチまで出て行って、廃品回収に出とるような家具とか集めて回つとるんよ

カトウ 栃木まではざらに行ってるわ

カトウ 俺も喋ってタバコ吸って屁えこいてるだけちゃうねん。ゆうたってくれモモくん

モモ カトウと俺で図面引いて、この建てもん全部よ。まあみんなに手伝ってもらいながらやけどな、全部建てたんよ

カトウ と、いうこと。分かった？

白山 …あの…

カトウ で、でもカトウさん、どっからこんなもんとか、それ買う金とか出てるかかっていう顔やんなそれ。分かってんねん。その顔なるのは白山 ああ…

カトウ 金の話してへんかったな。それはな

モモ、自分の絵を白山に見せる

モモ 俺、絵描きなんよね。自分で言うのもなんやけど、結構売れてる

カトウ ということ。分かった？

白山 …なるほど

カトウ じゃあさ、俺ら廃品回収今から行くけど、着いてくる？今から言ったらちようどいい時間くらいになるし。じゃあさ、あの死体さ、焼き場持つてってくれへん？おとましいから

白山 あ…はい

モモ はよして

白山 あ…（女性の体を担ぐ）

カトウ 子どもたち、出てきなさい！

子ども3人 はい（3人の子ども登場）

白山 この方を焼却場まで案内してあげなさい！

こどもたち はい

ヒトコ 兄ちゃん、こつちやで

マヒト もっと上持った方がいいよ

アヒト 僕足持つわ

マヒト じゃあ俺も片方持つ

白山 （返事しきれず）あ、うん、ありがとう…（舞台袖に運んでいく）

カトウ …どう思う？

モモ うーん

カトウ ちよつと、トロない？

モモ まあなあ。おどおどしすぎやな

カトウ そこやな。それマジでチェックポイントやな

モモ でも勉強はしとるみたいやし、なんか、いいやつそうやない？

カトウ ふーん。まあせやな

モモ まあ様子みよや

カトウ (タバコを吸って) チョウさんがカムバックして…半年くらいか

モモ せやな。あ、火もらっていい？

カトウ (ライターを渡す。モモ、タバコを吸う) あの、シライ君やつけ？

モモ 白山な

カトウ まあええわなんでも。あいつが持ってきたやつももうお陀仏やろな

モモ せやなあ。なかなか、厳しいよな

カトウ やんな…もうちよつと、城もデカしていきたいから、人手ほしいよな。マジで

モモ うーん、まあ、せやな

カトウ え、いらん？

モモ いや、そりやもつと人おったら楽よ。増えたら食糧が無くなって困るっていうことも、当分はそう無いやろうし

カトウ やろ？ やつたらさ…

モモ まあでも、俺はね、やつぱり、一人一人のクオリティーみたいなことが、わりと大事ちやうかなあつて思うわけよ。その、今すぐくうま

く回つとるわけやん

カトウ まあせやな

モモ やから、まあ、焦らんでもいいとこかなあとは、思うんやけど。

カトウ ふーん。まあそういう考え方もあるか

白山が戻ってくる

カトウ お、来たな白山君。もう覚えてたで。じゃあ、いこか

モモ 車のなかで、いろいろ話したるから

白山 あ、

モモ 全部メモつとれよ

白山 え

カトウ 一言一句な

モモ 一個でも間違つとるとこあつたら：シロが焼き場行きな
白山 ええ

カトウ でもそれさ、何言つたかモモのほう忘れれる説あるよな

モモ その説は、濃厚やな

カトウ ばり理不尽やん

モモ そういふもんよ

カトウ ほな、ぼちぼちいこか

3人、退場

2幕3場 サノのカムバック

調理場。ニシダがタバコを吸っている。そこにチョウがやってくる

チョウ ニシダさん

ニシダ ：何よ

チョウ 料理、お願いしますね

ニシダ なんで、さつき食べたじゃないの。お腹すいたの？

チョウ いや、カムバックです

ニシダ あらめずらしいね。じゃあちよつと子どもたち呼んでこないとね。子ども！

3人 (出てきて) なんですかお婆はん

ニシダ お婆はんっていうんじやないよ！魚釣つてきなさい！

3人 ええー、もう釣つてきたやん。だるいわあ

ニシダ カムバックなの

3人 え、ほんまに！やったー！

ニシダ おっきいの釣つてくるんだよ！

3人 はーい

3人が釣ってくる

ニシダさん、ニシミヤさん、カナイさん、チョウさんと3人と調理している。具材を切って、煮込んで、炊いてカトウ、モモ、白山が帰ってくる

カトウ おもろかったやろ？ルパンっぽくて

白山 そうですね

モモ まあこれがおれらの日常やからなあ

チョウ あ、あの、カムバックしました、あの女の子

モモ マジで！

カトウ ふーん。おもしろいな。

チョウ 料理できてます

カトウ (白山に) ああ、自分もまだ何も食ってへんかったなあ。メシ、喰ってきいや。あの子、起きたらしいし

食堂。テーブルがいくつかある。サノ、がつがつ飯を食っている。白山、ちよつとづつ食べている。

サノ 君なんていうの、名前

白山 あ、あの、自分、白山です

サノ 私サノ…この人？

白山 今日来ました

サノ あ、そうなんだ

白山 あ、自分が、おぶってきました。あ、サノさんのこと

サノ え、私を？

白山 はい

サノ そうなんだ、ごめん、重かったでしょ。ごめん

白山 あ、全然大丈夫です…あ、あの、重くなかったです

サノ あ、そう。ごめん、言わせたみたいになっちゃって

白山 いや…

サノ …あのさ、私ちょっと男関係でいろいろあってさ

白山 あ、そうなん、ですか

サノ そうそう。それで、リスカとかODとかやったけど、全然死ねなかったのね。まあリスカなんか、全然だけど。で、次飛び降りたんだけど、住んだアパートの5階から。打ちどころ良すぎて超軽傷だったの。じゃあと思って、その次首つったんだけど、途中で天井がさ、抜けてさ。ありえなくない？それで全然死ねなくて、ここ来たんだけど。まあ死ぬとかはもうどうでもいいんだけど…私天井抜けるくらい重いかな？

白山 いや、そんなにわ

サノ でしょ？マジムカつくわ、天井。まあ、もうここまで死ねなかったら生きよっかなって感じなんだけど、あの天井だけは許せない、マジで。

2人が再び食べ始めたところに、カトウがやってくる

カトウ 自分、名前なんやっただけ？

サノ あ、私、サノです

カトウ 俺カトウ。最近、ここで畑やろかなって思ってたんだけど、やらん？

サノ …（しばらくみつめて）やります

カトウ いい目してる。あ、あとで、二人とも一応チョウさんにみてもらうから

サノ ハイ

カトウ あの、あれやねん。1日経って、生きてるか死んでるか見極める人がおって、でも自分は1日経つ前に生き返ってもうてんねんけど。まあそういうことやから、見てもらってや

サノ ハイ

カトウ あ、シロやんも、たのむわ

白山 あ、はい

カトウ、一度退場。そのあとすぐに、カトウがモモとチョウさんを引き連れて入場

カトウ これがチョウさんフロムチャイナ

サノ どうも

白山 どうも

チョウ はじめまして。チョウといいます

カトウ 死にかけて、なんか見えるようになったらしいわ

モモ その紹介すごいさんくせいな

チョウ うさんくさいですね

カトウ で、どう？こいつら生きてる？死んでる？

チョウ 生きてますね

モモ 見たらわかる話やけどな

カトウ よかったな、お前ら。生きてるって

サノ …あ、はい

白山 …どうも

カトウ あとこの人は、死ぬときのこと占いでくれんねん

サノ へえー

カトウ ちなみに俺はこの城で死ぬらしいわ

サノ おおー

カトウ まあ、本望って感じやな

モモ おれは逃げ続けることで生き続けるっていわれたわ

カトウ まあお前の人生逃げ続けやしな

モモ そうやな

カトウ じゃあ、チョウさん、やったってや

チョウ はい。じゃあ、まず、サノさんから

サノ はい

チョウ、目を閉じて、サノの全身を撫でるように手をかざす。その後、失礼します、と言って、頭のおいをかぐ

サノ え、これ何してんの？

チョウ 占いです

カトウ チョウさん、においフェチやから、勘弁したって

サノ 私お風呂入ってないんですけど

モモ それくらいが、ちょうどいいんじゃない？

チョウ …（目を開けて）あなたは死なないですよ。あなたはもう死にません

サノ あ、やっぱり？

カトウ 鬼タフやん

チョウ じゃあ、次…

白山 あ、はい…

チョウ （一通り占い終えた後）死にたくなったら、釣竿を垂らして、海に聞いてみてください

2幕4場 城の日常

白山が論文を読み上げながら舞台全面を歩き回る

白山 扇島の生活は、規則的で外れることはない。それぞれにそれぞれの役割があり、各々が各々のやるべきことをして、夜になって朝が来る。子どもたちは朝日が来る方に向って釣竿を垂らし、ニシダさんがその魚をさばくところに明るくなってくる。もし前日死体が運び込まれれば太陽が一番高くなったところにニシミヤさんの手によって焼却所で燃やされ、一日で最も暑い時間帯にチョウさんがその灰を西の海に撒く。日が出ている間、カナ伊さんが何をしているかは誰にもわからない。週に二回カトウとモモは廃品回収にマチに向かう。マチとは、東京23区だったり、横浜だったりする。そしてここはミナミで、日本でもっとも東に沈む夕日を見送りながら、カトウとモモの戦利品を仕分けし、みんなで夕食を食べる。その暮らしはミニマルで、無駄がなく、無理もない。（以上のセリフ通りの動きを、A5の終わりの夕食まで舞台後ろで行う。その際セリフがあってもいい。）

よってそこに私たち新入りが入り込む余地もなく、私とサノは畑作業という、新しいプロジェクトを任された

小さい畑。土が敷かれてあるだけで、まだ何も生えていない

土にスコップで肥料を混ぜているサノ。そこに白山がやってきて、スコップを手取る

サノ あ、白山君、おはよう

白山 あ、あああ
サノ きよどりすぎじゃね？
白山 ああ、すみません、
サノ 一応聞くけどさ、白山君ってさ、絶対畑やったことないよね？
白山 ないです
サノ だよね。あのさ、トマトって土にどれくらいの量肥料混ぜればいいんだろ
白山 ああ…
サノ …まあ大体でいいか
白山 でも、年配の方に聞いてみたら、だれか農業やってたかも。ニシミヤ和尚とか
サノ 全員聞いたよ。だれも土いじり一つしたことなかったよ
白山 あ、そうですか
サノ のんびり土いじりなんてできる身分だったら、ミナミまで来てないよ、みんな。だからさ、私逆にさ、これ超贅沢なことなんじゃねって、勝手に思ってる
白山 確かに
サノ …（まとわりつくように）ねえ、白山くんさあ、
白山 はい
サノ なんです、ここ来てんの？
白山 え、それは…
サノ なんかさあ、なんちゃら学の論文とか聞いたけどさ、絶対嘘だよねえ
白山 いや、あの卒論が…
サノ 私さ、目見たらわかるよ。白山君もさ、生きてんのやめたくなっちゃったからここ来たんでしょ？なんで？
白山 あ、あ、行かなきゃ。あ、自分、ミーティングがあるんで…
サノ あ、ミーティングね。そっかそっか。いつもどんな話してんの？
白山 えーっと、調理場大きくするかとか、照明は必要かとか、そういう話です
サノ へー、面白そう。混ざりたい。（大きい声で）混ざりたい！とか言ったら聞こえるかな
白山 …びっくりした…

白山、退場。サノも退場する
城。カトウと白山がミーティングをしている

白山 あ、モモさんって最近どうされてるんですか？

カトウ モモはな、絵売りに行ったり、まあ色々探ってもらったりしてるわ。

白山 そうですか…

カトウ あいつはあいつで動いてるから、お前は気にしやんでもええねん。基本フラフラしてるタイプやから

白山 はい

カトウ まあそれはええわ。話し戻すで。人数の話やけど、俺は増やしてみてもええんちゃうかなと思うんやけど、どう思う？

白山 まあ確かに生産能力も向上してるようだし、住居の規模と下水周りの処理能力が上がれば、人口を増やすことも無理ではないと思います。自然な範囲で

カトウ (満足げに) うん。もつと、まあ今でもおもしろいねんけど、もつといろんなやつ集めちゃつてさ、鬼洩い場所にしたいんよな

白山 なるほど

カトウ 一言でまとめちゃうと、おれは、ザイオンを作りたいんよな。扇島に

白山 ザイオン？

カトウ レゲエ、聞かん？

白山 聞いたことないです

カトウ ふーん。レゲエ、聞きや。まあ、ザイオンっていうのはさ、要するに天国とか、理想郷みたいなことやねん。今自分がおるバッドな場所がバビロン、ホンマに待ってるグッドバイブスな場所がザイオン。今東京とかスーパバビロンやから、そんなん思ってるやつ山ほどおると思うねんな

白山 そうですね

カトウ うん。で、そんなかでも、とがりすぎて全然活躍出来てへんやつをピックアップして、そいつらが本領発揮できる場所、それを作りたいねん

白山 素晴らしいですね

カトウ 思う？俺もそう思う。実はな、俺もさ、とがりすぎてあそこでは鬼バッドバイブスでしか生きられへんかったやつやねん。モモもそうや。お前もちゃうんか、白山君？

白山 ……そうです

カトウ やろうや

白山 はい

カトウ 渋い。一個アイディアがあつてさ、聞いてみてもええかな

白山 はい

カトウ この上層部会議にさ、一緒に畑やつてくれてるサノちゃん、入れたらどうかと思うんやけど。ブリブリ頑チヨウつてくれてるみたいやし、何回かしやべった感じ話しキレそうや

白山 あゝはい、いいんじゃないでしょうか

カトウ うん。じゃあ今度からそうしよう

夕食。みんな食堂にばらばらにあつまってくる

ニシダ はい、食器持ってきてえ

ヒトコ いわれんでもわかつてるわ、ババア

ニシダ ほんとむかつくねあんた

マヒト はい、どうぞ、ババア

ニシダ 黙って持ってきてくんない？

カトウ ほんまに口達者にそだつてもうたなあ、誰に似たんやろ

チヨウ カトウさんでしょう

カトウ あ、ほんまに？

アヒト ；（ニシダに近寄つて、小さい声で）ババア

ニシダ なんか言つた？？（凄む）

アヒト あ、ごめんなさい（小さくなつて離れる）

モモ アヒトだけつめられるていうのが、おいしいよな

カナイ そうですね

ニシミヤ 今日の夕餉はなんでしょうか

ニシダ ボラの煮つけ

モモ 来る日も来る日もボラの煮つけや

ニシダ じゃああんた作ってよ

モモ うわーおいしそうー毎日毎日ごちそうやー

ニシダ 子どもばかり

カトウ 明日は、肉買ってくるから

ニシダ 分かりました

カトウ 誰かになんかしてほしかったら、自分から動かなな

サノ なるほど（メモを取る）

モモ いや、これメモらんでいいやつよ

白山 あ、なんか、手伝うことは、、

ニシダ いや、大丈夫座ってて

白山 あ、はい：

モモ こら、シロ！座つとれ

カトウ 犬ちゃうねんから

マヒト 座つとれシロ

白山 え、、

ヒトコ ほら、シロ、お手

サノ ほら、お手しないの？

白山 いや、犬じゃない、、

アヒト ：（近寄って、小さい声で）シロ：

白山 ：いや、白山：

アヒト あ、そつか：

カトウ なんやねんその絡み

ニシダ できましたよ

ニシミヤ 手を合わせて。いただきます

みんな いただきます

サノ おいしい：

モモ いつもと一緒によ

サノ いや、なんか、こうやってみんなで机を囲んでご飯をたべんの久しぶりだから。なんか、家族みたいで：

チョウ ありがたいことですよ。本当に

カトウ 味付けがいいよな

モモ ちよつと関西風でな。懐かしいよな

ニシダ 昔大阪にいたから、あたし

モモ あ、そうなんや

チョウ ここは、とても関西出身の人が多いですよね。どうしてでしょうか？

カトウ まあ、類が友を呼んだんやろ

チョウ なるほど

モモ なんか、ちよつと思ひ出してしまうなあ

ヒトコ ：（みんなが黙々と食べているところ、大きな声で）ごちそうさま。ニシダさん、明日、ハンバーグな！

カトウ お前いいムード鬼ぶちこわすやん

笑いながら、食事が続く

白山 こういう風に、暮れていくのが、この城、の生活であつた。しかし、この城は生まれ変わっていき、生まれ変わることで何かを手に入れ、また何かを失っていく

3 幕 1 場 新体制

スライド「第二幕 城の話」

昼。城。カトウ、サノ、白山、カナイがミーティングをしている。カトウはソファーに座り、サノはバインダーを持ち何かを書きつけ、カナイはマックに何かを打ち込み、白山は何も持たずに立っている

サノ 今日はあとモモさんが来る予定ですが

白山 久しぶりですね

カトウ 呼んでん、おれが。でもまあ、相変わらずのモモタイムやな。シロも、ちよつと遅かったんちゃう？
白山 あ、すみません

カトウ (タバコを吸つて) まあええけど。まあ、先話進めよか

サノ はい、じゃあ、新規リクルートの計画ですね

カトウ カナイ君、何人がキャパ？

カナイ 今のところ、新規は20が限界ですね

カトウ え、あんだけ住むとこ、あんのに？100は余裕ちゃうん？

カナイ プレハブは問題ないんですが、食糧供給の規模や下水処理への負荷を考えると、20人が限界ですね。

カトウ どうかならんの？

カナイ あと一か月もらえれば。追加で予算がかさみますが

カトウ ふーん。それは、金は大丈夫や

カナイ それなりの額になりそうですが？

カトウ 大丈夫大丈夫。アテはあんねん。じゃあとりあえず来週は20人くらいにしとく？

サノ 了解しました

カトウ どういうメンツにするかな

カナイ インフラ関連で望ましい人材はリスト作りました。4, 5人で足りるか

カトウ おう。サノはどない？

サノ 私は、炊事とインフラ整備を担当できる体力のあり、かつカトウさんの理念に共感できるような人材がいいと思います

カトウ それはわかってんねん。具体的には？

サノ うーん、ゲイとか？

カトウ おかまか。あいつらうつぶんたまつてそうやから氣い合うかもな。

サノ あとは、ホームレスとか

カトウ うーん、あいつらな、結構体ガタ来てたり病氣もつとったりするからなあ、ちよつときわいな。いい感じのやつらもおるやろうけど

サノ なるほど(メモを取る)

カトウ …シロは、なんかアイディアある？

白山 僕は…あんまり分かんないですけど、先生とか？

サノ 先生？

カトウ 先生とか、マジで俺の一番嫌いな人種やわ

白山 ああ…

カトウ なんで先生なん？

白山 あの、3人の子ども、に先生とかいたらいいなあと思って

カトウ …このな、自分の力で生きていかなあかんタイミングでさ、学校のただ詰め込まれるためのさ、知識が役に立つとは俺は思わんな

サノ うーん、そうすね

カトウ まあ、考えとくわ

ラフな格好をしたモモが入ってくる

モモ すまんすまん

カトウ おう。早かったやん

モモ ちよつと道混んどつてさ。久しぶり、サノちゃん、カナイツち

サノ 久しぶりー

カナイ どうも

カトウ …いやシロちゃんスルーしたんなや

モモ ああ、おったんかシロ

白山 いました

カトウ ほんでお前もつつこめや。「いやいや、僕僕」って。「いまっせ、いまっせ」とか。（ヘラヘラして）それは流石に、ごりごりすぎるか

モモ そんな関西弁ごりごりなシロちゃんいややわ

カトウ つつこむんが礼儀みたいなところあるから、頼むでシロやん

白山 あ、はい、すみません

カトウ いや別に謝らんでええけどさ

サノ なるほど（メモする）

カトウ いや、メモらんでええから。もうつかれるわあ。ツツコミが追い付かん

モモ 大変やな。ちよつと、タバコ、もらっていい？

カトウ ああ、ええよ

モモ ありがと

カトウ ーほんで、じゃあ、あ、俺モモにリクルートの話したっけ？

モモ いや、きいとらんわ。最近、全然おらんかったからさ

カトウ 絵、書いたん？

モモ うん、まあ、売りにいっとったんやけど、どこも不景気やわ

カトウ ふーん。まあ、前から言ってたけど、そろそろでつかいこうかと

モモ おうおう

カトウ こころで人増やして、でつかしよ思っ

モモ ああ、

カトウ まあ、そんな感じで行った方がええんちゃうかって話なってるわ

モモ そつか。シロちゃんはどうなん？

白山 僕はー

モモ 今迄みたいに、こう適当にやってたらあかんのかなあ。俺は、あれはあれで居心地よかったんやけど

カトウ まあ、今迄みたいにゆつくりやっていてもええんやけど、ええねんけどな。でもほんまにでかいことできひん

モモ ー何かを犠牲にし何かを手に入れらんものやな

カトウ でもその犠牲の2倍手に入れたら、それは犠牲やなくて投資や

モモ 流石ビジネスマン

カトウ まあな

モモ 投資できる、もどでは足りとんの？申し訳ないけど俺から全然最近出せとらんのやけど

カトウ 利用できるそうなかモ抑えたから、なんとかなるわ。あとさ、もう、絵の金は、大丈夫やから

モモ あ、ほんと

カトウ これまでありがとうな

モモ いや、全然ええんけど

カトウ どうしたん？

モモ いやー張り合いが無くなる

カトウ まあ今モモ調子悪そうやし、ゆつくりしてや

モモ おう、そうさせてもらうわ

カトウ さっそくやけど、新しい子、連れてきてんねん

サノ、ナカセ（男A）を連れてくる

ナカセ 初めまして、ナカセです

カトウ なかなか切れるやつやから、面倒見たって

モモ おう、よろしく

カトウ ほんで、モモと、あと、白山君にはな、畑たのもかなと思って

モモ おおおお、ずっとやりたかったわ

カトウ シロちゃん、ミーティングはナカセに引き継ぎで大丈夫やから、畑の周り、頼んでええかな？人増えたら、やっぱ食いもんがな、いるからさ

白山 あ、はい

カトウ じゃあ、サノちゃん、今から二人に話して来てや。俺らはナカセにいろいろ教えとくから

サノ わかりましたー。じゃあ、いきましよう

カトウ モモがどっかいつてまわんうちにな

モモ もう俺スキ見てすぐどっかいくよ

サノ 気を付けまーす

カトウ じゃあ

モモ おう

サノ、モモ、白山でいく

ナカセ あのモモっていうのは？

カトウ ああ。まあ、後々紹介するわ。それよりな…

カトウ、ナカセとカナイを引き連れて城の中に入っていく

3幕2場 白山、釣り

早朝。岬。子ども3人が白山を引き連れて釣りに出かける

ヒトコ ほら、シロ。ちゃんとして

白山 あ、ごめん…

アヒト 起きられへんの？

白山 うん…

マヒト しっかりしろよ、大人なんだからさ

白山 ごめん…

ヒトコ シロ、餌はな、このダンゴをな、これくらいとつて、針にこうやってつけんねん。(やって見せる)

白山 ああ(うまくできない)

マヒトコぼれてんじゃん

アヒト 寝ぼけてんの？

白山 あ、かも…

ヒトコ 餌もただちやうねんで

白山 ごめん

マヒト そんなんだからミーティングから外されんだよ…あ、ごめん

白山 いいよ、事実だから

アヒト 大丈夫。畑できるから

白山 あ、ありがとう

4人、釣竿を垂らす

ヒトコ なあ、なんか最近新しい人いっぱい来てるけど、みんなカムバックなん？

白山 …いや、そういうわけじゃない

ヒトコ じゃあ、なんでなん？

マヒト ミーティングいねーんだから、知ってるわけねーじゃん

ヒトコ あ、そうか

白山 …まあ、一応、ここをもっと大きくしようとしてるみたいだよ。カトウさんは

アヒト …そうなんだ

マヒト ふーん

ヒトコ もっともつと増えんのかな？

白山 多分

マヒト 今度もまた歓迎会あるんだろ？

白山 そうみたいだね

ヒトコ 行きたいなあ

アヒト 僕ら子供は入れへん

マヒト 意味わかんねー

ヒトコ …じゃあさ、こちらが釣る魚だけやったら足りんくなるやん

マヒト ほんとだ

ヒトコ シロも釣るから大丈夫

白山 ええ

ヒトコ ほんまや。シロも毎日釣ったらええやん

白山 起きれるかなあ

ヒトコ 慣れんで！うちもきてすぐはな、全然起きられへんかったけど、もう起きれんもん

マヒト ヒトコこないだもこなかったじゃん

ヒトコ あれは風邪ひいてたからや。そんなんゆうたらマヒトもやんか

マヒト 俺は熱あったし

ヒトコ うそや

マヒト お前のが嘘な

ヒトコ うそちゃうわ。なあ、シロどう思う？

マヒト ヒトコ嘘つきだからなー

ヒトコ 嘘ついてへんってゆってるやんあほ

マヒト ブス

ヒトコ うるさいちび

マヒトコ これからのびるんだよ

ヒトコ それもうそや。なあ、嘘やんなあ？

白山 どっちもほんとなんじやないの？

マヒト うーん

アヒト …ほんまに足りるのかな？

ヒトコ 何？

アヒト 魚

マヒト 足りるだろ。いっぱい釣ってんだからさ

白山 …あ、なんか、かかったかも

ヒトコ ほんま？

アヒト すごいやん

白山 あ、結構、重い…

マヒト ちよつと貸して（白山の竿をとり、竿をふる。ため息をついて）これさ、針ひっかかってるだけだよ

白山 あ、ほんと

マヒト （糸を切りながら）針もただじゃないんだからさー

白山 ごめん

2幕3場 飲み込む動物現る

昼過ぎのトマト畑。白山ともがいる。白山はめかきをしている。ももが入ってくる

モモ おはようシロ

白山 もう11時ですけど（作業しながら）

モモ これくらいがちょうどいいんよ

白山 一応9時からやるっていう…

モモ そんな細かいこと気にしとったら育つもんも育たんよ

白山　でも、みんなそうだから

モモ　あれは、あれやろ。新しい小屋とか、なんか作業所とか、メシ作ることとか、そういうのみんな作つとこの話やろ？俺らは関係ないやろ

白山　うーん、どうでしょう

モモ　関係ねえよ。何やる？

白山　ああ、じゃあ草取りを

モモ　任せろ

モモ、草取りを始める。しばらく黙って作業

白山　昨日も絵描いてたんですか？

モモ　うーん、最近かいとらんのよなあ

白山　あ、そうなんですか

モモ　なんか描けんくなつてな

白山　そうですか

モモ　（白山がやった後のトマトの株を見て）…あ、めかきやった、それ？

白山　あ…（トマトのめかきをする）

モモ　ちよつと目え離したらこれやからな

白山　すみません

モモ　たるんどるわ

白山　モモさんに言われたくないです

モモ　なんやとシロ吉（白山を追いかける）

白山　土かけないでくださいよ（ちよつと笑っている）

化粧の濃くなった、サノが入ってくる

白山　あ、

サノ おつかれーす

もも おお（目を合わせず、作業を再開）

サノ シロちゃん

白山 はい

サノ 遊んでんの？ちよつとたるんでない？

白山 ええ、そうなんですかね…

サノ モモさん、お久しぶりです

もも おお、なんか用と？

サノ いや…なんかさ…ボスが「みんなさぼり気味ちゃう？」ってうるさくてさ。で、まあ、一応…

もも ふーん

サノ うん。そういうことー。ま、あんたたちは大丈夫だとは思うけど、ま、一応ね。じゃあね

白山 はい

サノ退場。二人また、黙って作業をする

モモ なんか、集中できんわ（タバコを付ける。作業を続けている白山を見て）シロちゃんさ

白山 はい

モモ シロちゃんさ、なんかその、論文は書いとるん？

白山 いや…最近は、ちよつと…

モモ ふーん

白山 実は…論文っていうより、論文っていうのは別にあれで、そのためにここに来たんじゃないですよ。本当は

モモ まあ、そうやろな

白山 あ、知ってたんですか？

モモ ここに来る連中は、みんななんかあつて来とるからな。俺も含めて

白山 なるほど

モモ なんかあつたんやろ、シロちゃんも？

白山 あ、なんかあつたっていうか、膜があるんですよね

モモ 膜？

白山 なんかに、体の中に膜があつて、それが、あるからうまく喋れないっていうか…

モモ うまく喋れんっていうのは、分かるけど。膜かあ…

白山 なんかに体の中全体の、肌の裏に、ぴったり膜がついてて、それで、なんか、閉じ込められてるっていうか？

モモ その膜っていうのは、何色なん？

白山 色、ですか？

モモ なんかいメージできる？

白山 うーん。色はなくて、でも、白でもないし、黒でもないし…

モモ ふーん…膜かあ、不思議やな

そこに、ずんぐりとした、ふさふさの、4足歩行の動物が歩いてくる。頭はアrikuiの形だが、体は獺のようにも見える

モモ あれ、なん？

白山 え？

モモ え、なん？なん？

白山 え、あ、え？

モモ アrikui？

白山 いや…獺？

動物は魚を食べている

モモ あいつ、魚食ってるぞ

白山 さっき釣ってきたやつ…

モモ めざといな

白山 冷蔵庫から持ってきたのかな…

モモ めっちゃくうやん。絶対あいつ、息臭いやろ

動物、ももと白山がいる方に近づいて来る。そして大きく口を開ける

もも 何？なんかくれってことかな

白山 さあ

モモ なんか、こつち寄ってきたぞ。そんなに臭くねえな

白山 そうですね

動物、ももをパクつと食べる

もも (口の中で) んん

白山 ももさん！え、あ、大丈夫ですか？！

もも (しばらく足をばたばたさせていたが、やめる)

白山 え、ももさん！！

動物、口を開ける。もも、よろよとでてくる

もも はあー

白山 大丈夫ですか！

もも これな、めつちやきもちいい

白山 …

もも マジで、めつちやきもちいい

白山 …マジすか

もも ほんとよ。やつてもらい、自分も

動物、口を開けて待っている

白山 いや、いいっす、自分は

もも いや、絶対やつてもらえ

白山 ええ

もも じゃあおれ、もう一回行くよ

白山 え、そんなに気持ちいいんですか？

もも きもちいいよ

白山 じゃあ…

動物、白山を口にくわえる

もも どう？ なかなかいいもんやろ？

白山 (口の中で) んん

もも よかったっしょ？

白山 はい (出てくる)

もも ちよつとした、射精並みの、やつやろ？

白山 ああ、うーん

もも まあ、ちよつとこれは内緒やな、他の人には

白山 え？

もも なんか、殺されそうや

白山 確かに。子どもたちには？

もも どう思う？ おれこれ、R指定もんやと思うんやけど

白山 そうですね

2幕4場 歓迎の祭り

看板「WELCOME TO ZION」

スライド「扇島へようこそ」

夜。城の上が櫓になり、そこはDJブースになっている。その横に立っているカナイさん。サングラスをかけて、ヘッドフォンを首にかけている。音楽はすべてレコードでかける

広場には、何軒か屋台（酒、たこやき、焼き魚、ゲイバー）が立ち並び、そこには元ホームレス、ゲイやレズビアン、ヒッピー風の若者、足のない男、盲目の女などが酒を酌み交わし、広場の隅ではジャンキーたちがマリファナを吸っている。バスが到着する。ドアが開くと、5人ほどの新たにリクルートされた人たちが広場に入ってくる

ナカセ みなさんこちらにお願いしまーす

サノ お酒や食べ物をご用意しておりますので、どうぞご自由にお取りください

ダンスホールレゲエが流れ始めると、カトウが櫓の上に立ち、マイクを持って話し始める。広場は終始ざわついている。時々広場からちやちやが入る

カトウ あ、どうも。カトウです。カトウってよんで。一応、ここ仕切ってるもんやから、なんかあったら俺にゆって。なんなくても、話しかけてくれちゃっていいけど。ここが扇島で：あ、先酒みんなとってー、ビールとか、飲めん奴はソフトドリンクもあるから、うん：じゃあみんなもった？まだ？（サノとナカセがビールを配っている）はいじゃあ、いくでー。かんぱーい（一同、まばらに乾杯する）じゃあ、ちよつと、話さしてもらおうわ。知ってると思うけど、ここは扇島って場所で、まあ今結構な人数、200人ちよい位が、フリーな感じでラフに生きてる。バビロンのでロボットみたいに生きさせられたりとか、ハブられてハードモードやった連中多めやけど、まあ俺も尖りすぎてマチに全然なじまれへんかった一人やねんけど。まあええわ。とりあえずここでは、やれることだけやったら、あとはフリーっていうシステム。例えば、魚釣りまくってるちびっこ三兄弟とか、俺よりフットワーク軽めなコンテナづくりの達人の元ホームレスとか、あと鬱で死にかけてたエンジニアが、島中フリーWIFI繋げてくれたりとか。何していいかわからん奴には、畑とかもあるけど。マジでやりたいことやってくれたらええから。ただ痛いのと、だるいのはなしで。俺どっちも嫌いやから。あ、俺はな、裏でゴソゴソしてるわ。カモみつけて、金ださして、もつとここデカするために、そこにおるサノちゃんとか、ナカセとかと頭使ってるわ。で、まあ、これまだわからん話やねんけど、そのためのステップとして、この扇島がなんか違う名前つける可能性もある。まあこれはまだわからんけど。まあとりあえず今日は楽しんでって。ヤーマン！

この後、DJタイム。オタクっぽい女が着て、ダブステップをかけたり、サノがきてギヤングスタラップをかけたり、アル中のおっさんがきて歌謡曲をかけたり、ゲイがきて、EDMをかけたりする。曲が掛かっている間、舞台上での動きは表参照。

ゲイのDJが終わると、人々が三々五々に去っていき、舞台上は暗くなる。背広の男とゴミだけが残り、チョウさんとニシダさんが掃除をしている

ナカセ（帰っていく人たちに）それじゃあ、明日からよろしくお願いしまーす

チョウさんやニシダさんが去った後もずっと、背広の男が後ろでニヤニヤ見ている。すると、後ろから前に歩いて来る

4 幕1場 クロサワのミーティング スライド「第3幕 扇島区の話」

以下の報告は、小さな会議室で、5、6人の部長クラスの前でなされている
また別の場所では、カトウ、サノ、ナカセも打ち合わせをしている

クロサワ（背広の男） 「扇島における違法占拠状態とその対処についての報告」として、川崎市自立支援課のクロサワから少しお話させていただきます。では資料を読み上げます。国におけるホームレスの自立の支援等に関する施策の推進は、平成24年8月7日に10年の時限立法として「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」（以下「特別措置法」という。）が施行されたことにより開始されました。特別措置法は平成35年8月7日に延長され、平成50年8月7日までの時限となっています。この中で施策の目標を明示するとともに、国及び地方自治体の責務として、こうした目標に関する総合的で、地方の実情に応じた施策の策定及び実施が位置付けられました。「第20期川崎市ホームレス自立支援実施計画」（以下「第20期計画」という。）は、国における基本方針の改定を踏まえ、本市におけるホームレスの実情に応じた施策の推進を図るうえでの基本目標と基本方針、達成に向けての具体的な取組を示し、ホームレスに関する諸問題の解決を目指して策定します。先日の会議にもございましたように、すでに工業的な利用再開が決まっている川崎区扇島に集積しているコロニーはかつての数十人の規模から数百人膨張しております。他方、切迫した財政状況と慢性的な重工業などの主産業の停滞により、この案件に関しましては、単純な不法占拠状態の除去とは異なつた別次元のアプローチが必要とされております。私クロサワが当コロニーの中心者との接触に成功いたしましたして、複数の部署にまたがる案件について現在交渉中でございます。現在のところ、コロニーのホームレス無低事業としてのNPO化とそれにとまなう大口の助成金によって、現在までに扇島に川崎区のホームレス、貧民層のうちすでに数百人がさらに定住し、この先3か月間の間にその数は千人に達するだろうとの報告を受けています。

クロサワ、カトウたちのいるところに移り、報告を続ける

カトウたちも話を聞いている

クロサワ　コロニーの中心者には、助役決定の通りに、扇島を「扇島区」にし、特別区としての自治を提供する、その見返りとしてホームレス層の受け入れ、吸収を任せたい、との話を付けております。当コロニーは、巨樹スペース、上下水等のインフラ、食糧生産、火葬場、またコロニー独自の産業ももっており、一つの自治体としてすでに機能しているとの判断からです。当コロニーは、もともととは社会のはみ出し者たちのコミュニティとしてスタートしていることから、ホームレス無低事業と彼らのスタイルとは矛盾がありません。さらに、中心者としては、コロニーの拡大をかつてから計画していたこともあって、私たちの事業と連携することは、非常にウインウインな結果をもたらしているといえます

クロサワ、役人たちのいるところに戻る。カトウたちはまた自分たちの打ち合わせに戻る

クロサワ　あ、ここから先は筆記を止めてください。先日から産業課の長年の推進により、日本化成川崎工場が再稼働いたしましたのは、みなさんご存知のことかと思えます。現在川崎湾は産業湾として登録されており、工場排水の基準は以前よりも緩和されております。現在、排水中の成分、特に水銀量については調査中でございます。本日、産業部、経済部など、本来ホームレス問題とは遠い部署の皆様にお集まりいただいたのは、私共としては、そこにコロニーが集団で生活していることは、不法占拠であるから、私を含め川崎市役所のあずかり知らぬことである、ということを確認するためでございます。従って、扇島のコロニーの主食は沿岸でとれる魚であることも、私の預かり知らぬところであります

4 幕 1 場　飲み込む動物の死

畑。実が色づき始めたトマト畑で、白山が水やりをしている。ももがチョウさんを連れてやってくる。白山は赤い作業着を着ている。

もも　おっす

白山　あ、ももさん。お久しぶりです。あ、チョウさんも（チョウさん、会釈する）

もも　な、久しぶりやな。

白山　そうですね

もも　なん、その、真っ赤な服？

白山　ああ、これカトウさんがみんなに配ったやつなんですけど…

もも　ふーん。全然似合っとらんけど

白山 分かってますよ

モモ それにしても、なんか野暮ったいなあ。共産党みたいやな

チョウ ブルーカラーはなんとなく辛気臭いから、レッドカラーにしよう、ということらしいですよ

モモ あ、なるほどな。全然知らなかったわ

白山 最近、全然来てなかったですもんね

モモ せやなあ。あ、そうそう。こないだの、パーティーみたいなやつ、ちらっと顔出しとったんやけど、シロおらんかったよな？

白山 ああ

モモ 出とらんかったん？

白山 いや、あの、動物に飲み込んでもらってて

モモ そうか。お前もお盛んやなあ

白山 なんか、はまっちゃって

モモ 俺も久々に、飲み込んでもらいたいな。チョウさんにも教えたらうかな思って。さっきまたまた会ってさ

チョウ そういうわけなんですよ

白山 いや、なんかそれが、最近あんまみなくて

モモ あ、そうなん

白山 調子悪いのかな

モモ あいつさ、ここできかみやんよな

白山 そうなんですよ。どこにいるんだろ：

モモ 待っとつたら、来るかな？（タバコを吸う）

白山 そうですね（水やりを再開する）

モモ ；ずいぶん、賑やかになったな。シロがここに来た時に比べると大違いやな

白山 そうですね

モモ ；いろんな奴がおって、それはそれは楽しそうやな

白山 確かに

モモ ずっと畑やっとなん？

白山 はい

チョウ 久しぶりに来たんですけど、かなり育ってますね、トマト

白山 ああ、そうですね。実が色づいてきたんで、雨が降って実が割れないといいんですけど
チョウ 普通、ビニールの覆いをかけますよね？トマトの場合

白山 そうですけど、草のマルチをしつかり敷けば、実が割れないみたいなんです
チョウ どうしてですか？

白山 トマトの実が割れるのは、水分を吸収しすぎて破裂してしまうからなんですよ。だからもともとそんなに水がいらぬ野菜なんで、雨を
遮るように根元を覆えばいいっていうのを本で読んで：

チョウ なるほど。雨が当たって実が割れるもんだと思ってました

白山 僕もそう思ってたんですけど、まあこっちの方が安く済むんで

チョウ うまくいくといいですね

白山 ありがとうございます

モモ シロお前すつかり野菜に詳しくなつとるやん

白山 モモさんがいない間に勉強しました

モモ ほん。やっぱりお前も大学生の端くれではあつたんやな

白山 まあ：

モモ あ、釣りもやつとるんやつけ？

白山 いや、釣りはもうしなくなりましたよ

モモ あ、そうなん？

白山 元漁師の人たちが来て、網で漁みたいなのをするようになったんで

モモ じゃあ、あの子らはどうしとるん？あの悪ガキども

白山 あんまり元気じゃないですね。マヒトはずっと部屋に閉じこもってて

モモ ああ、あいつプライド高いもんなあ

白山 その漁のメンツには、入れてもらえなくて

モモ いれたつてもええように俺は思うんやけどな

白山 ヒトコとアヒトは、チョウさんとかニシダさんの手伝いしてますけど

モモ そうか：あ、あれ来たかな？

白山 あ、来ましたね

飲み込む動物がやってくる。が、自分のしつぽを追っかけている

モモ なんか、遊んどるなあ。ええなあ、あいつは自由で

白山 モモさんが来たからうれしいのかなあ

飲み込む動物、しつぽを追いかけているうちに、小さく丸まっていく

モモ あ、丸まったぞ。サッカーするか

白山 どうしたんだろう

飲み込む動物、ふらふら歩いた後、倒れる。白山が駆け寄って、後ずさる

白山 くさい

モモ （近寄ってきて）くせえ

白山 ……どうしたら…

チョウ 焼却炉に運びましょう。サノさんと同じように

白山 あ、はい（動物を担ぐ）

モモ 手伝おか？

白山 いや、一人で大丈夫です

モモ 結構きつそうやけどいける？

白山 自分が、行きます

白山、動物を担いで、運んでいく

モモ （タバコに火を付けて）あと一回だけ、飲み込んでほしかったけどなあ

チョウ 私も飲み込んでもらいたかったです

モモ すごい気持ちよかったんやけどなあ

チョウ 残念です

モモ いつまでも、おるわけやないんやなあ。もっと早めに来とればよかったわ

チョウ いっただって私たちは遅すぎるんですよ

モモ 今回もそうやったみたいやわ。まあ、いい思い出できたわ：チョウさん、最近何しとるん？

チョウ 私は、相変わらず死にかけてきた人の占いと、死んだ人の火葬ですね。まあ、近頃は来る人がみんな元気な人で、ここにきて死んでしまった人を見ることが多いのですが？

モモ え、誰か死んだ？

チョウ ニシミヤさん、覚えてますか？

モモ ああ、あの坊さんのな

チョウ 道路工事の作業中に亡くなりました

モモ そうかあ

チョウ 最近はどういった事故が増えています

モモ そうなんかあ。なんか、変な感じやな。死にに來た人がまた生き返るところやったはずなのに、ここで、全然しなんでもよかったのに、死んでしまうんやな

チョウ そうですね：モモさん

モモ なに？

チョウ 私は、ここに最後まで居ますよ。カトウさんにはすぐお世話になりましたから。ここで目を覚ました時から、ここで死ぬと決めたんですから

モモ ここで死ぬって決めたんやなくて、ここで死ぬって見えてしまったんやない？

チョウ …だから、私は、モモさんを止めませんよ

モモ …

チョウ じゃあ、私は焼却炉に行つてきますね

チョウさん去る。チョウさんが去った後、モモ、タバコの吸い殻を足で消して、それを畑の外に投げ捨て、去る

スーツのカトウ、サノ、ナカセと、クロサワが、シックなレストランに座っている。ウェイターが来て、それぞれの注文を取っていく

クロサワ 今日には珍しくスーツで来られたんですね

カトウ まあ、こういうところでメシくうんやったら、ちゃんとした服きてこか思いました。会議もあるしなるほど

カトウ まあ自分も昔ちよつといい飲食の店で働いてたりとかしたんでね。こういうとこにかりゆし短パンつっかけの鬼ラフなやつ入って来られてもどう対応したらいいかわからんくなってまいりますからね。まあいつもの自分のスタイル曲げてきましたわ

クロサワ お似合いですよ

カトウ どうもどうも。サノに、仕立ててもらたんやけど。ストライブにしやんでよかったな

サノ そうですね

クロサワ いかがでしたか？今日の総務部とのミーティングは？

カトウ (飲み物を一口飲んで) まあ、ちよつとのまれへんところもあるわな

クロサワ 具体的には？

カトウ あ、一番は工場の再稼働の数かな

クロサワ なるほど

カトウ 10も一気にさ。いけるんかなあつていうのが一個やな

ナカセ 全部、化学系？よくわかんないすけど。ぶっちゃけなんか体に悪いかんじの煙とか、でてるんじゃないのっていう、感じなんで

すけど

クロサワ こちらとしては、すべて必要な検査を通過した基準での排煙、排水ですので、問題ありませんとしか申し上げられませんね。よかったです、次回お会いするときに検査結果に関する資料をお持ちしますよ

カトウ まあ、ポイントはそのじゃないねんな。なんでその話黙ってされてたっていうのが、別にええねんけど、気い悪いよな

クロサワ その、工場再稼働に関してはですね、カトウさんたちとお会いする前々から進んでいた話でして…えー…

カトウ いや、それは聞いたけどさ、そのあともその話俺らにされてないしさ、

サノ 工場の再稼働は先週で、その以前から何度もこういう、話し合いの場を、設けていましたよね？その時になんらかの説明や相談があつてもよかつたのではないか、ということなんです

クロサワ そのですね…その、すでに進んでいる話でございましたから、あの、以前こういう工事が進んでいます、という報告は致しましたよね？それでこちらとしては説明は済んでいるものかと…

ナカセ だからなんで勝手に進めてんの、って感じなんですよ。住んでる俺らには何の話もなしでさあ

カトウ ナカセもうええわ。この話これ以上しても気が悪いなだけや

ナカセ すみません

クロサワ 申し訳ありませんが…やはり税金にも関係してきますので…安定した税金の基盤があれば、区になったときの運営も…

カトウ (遮って) あんたも扇島のことをめっちゃ考えてる。だけど俺らは俺らで自分らで動いてめっちゃ考えてる。だからその工場再稼働の件について、俺たちはすごく気分が悪い。これからは工場の話もきっちりしてもらおう。その代り口出しはしない。…ただ、この先似たようなこと続いたら、もう、会うことはない、こういうスタンスでいかしてもらおうけど、ええかなクロサワさん？

クロサワ 承知いたしました。ご理解、感謝します

カトウ これでこの話はしまいや

カトウ、タバコを吸おうとすると、ウェイターが出てくる

ウェイター すみませんがお客様、当店禁煙でございますので…

カトウ あ、ほんま？(タバコを消しながら) どこに書いてあった？

ウェイター 入口に…

カトウ ようみてへんかったわ。すまんな兄ちゃん

ウェイター 失礼いたします(退場)

カトウ タバコも吸われへんか

クロサワ すみません。喫煙できる店を選べばよかったですね

カトウ いやいや、いつもうまいもん食わしてもらってそんなん、全然、大丈夫ですよ。な？

サノ すごくおいしいです

ナカセ はい。ほんとありがとうございます。ミナミだと魚ばっかりなんで

カトウ みんな一生魚食うとるからなあ

サノ 最近なかなかこつちの用事が増えて一緒に食べられないですけどね

カトウ でももうええわあ。おれマジでもう一生分の魚食うと思うもん

ナカセ 確かに

カトウ いや、今日の鴨もなかなかうまかったわ。ごちそうさん

クロサワ 気に入っていただけたようでよかったです

サノ …あ、あと、あ、すみません、いいですか？

カトウ うん

サノ あの、私たちが住んでいる、城という建物を、市が買い取るというのは、どうということなのでしょうか？

カトウ せやな。俺もそこは聞いたときなかった

クロサワ その件につきましてはですね、運営コストをこちらで負担させていただくために、一度買取という形で、登録上の所有権を移させてもらうということなんです

カトウ いや、クロサワさん。俺らあの島のはじっこで自分らで10年近くやってきたわけですよ。誰の力も借りんと。ね？それがこう、市とかのものになってまうと、勝手きかんくなってまうっていうのは、けっこうえぐい話や思うんですけど

ナカセ 城でDJパーティーやったりとかしてるんですよ

クロサワ そうなんですか。それは初耳です

ナカセ ええ。こう夜こうみんなであつまってバーツと

カトウ その話今関係ないんちゃう？

ナカセ あ…（察して）すみません

カトウ いやまあ、そういうことなんですわ

クロサワ なるほど。まず一つに、見かけ上の所有権が変わるだけで皆さんのその、自由度が変わるわけではないということ。これは今日お渡しして資料にも明記しておりますので、ご確認ください

サノ はい

クロサワ それと二つ目に、やはり一つの地域が「区」になるには、それなりの設備、例えば区役所や保健所などが必要になってきますので。そしてそういったものは公共のものである必要がありますから、まあ後々のことを考えますと、そういった公共の建物をいくつか確保していくことは、区行政の運営において、得策であるかと

カトウ まあ要するに扇島区にするために先手うってこやっていうことですよ？

クロサワ そうです

カトウ いやー、クロサワさん頭切れるから話早いわあ

クロサワ いやいや。カトウさんやみなさまのスピードについていくのに必死です

カトウ そりやまあ俺らはもうなんもないところからアイデアつくって、人動かしにくいかなあきませんからね。やっぱり市役所みたいにもう安定しきった場所やと、いやクロサワさんはちやいますけど、前の、俺らと話してた、何て名前やったっけ？

サノ 佐々木さん？

カトウ ササキや。(眼鏡を触るものまねをしながら) えー、それはこちらとしては承りかねますのでねーえー、みたいな。マジで頭固すぎて話ならなかったよな

ナカセ あの人が今何してるんですか？

クロサワ 今は土木課園芸局で市道に生えている並木の選定をしています

カトウ 収まるとこ収まっとんな

ナカセ そうですね

クロサワ では、すみませんが、私は明日も早いで失礼します

カトウ あ、長々とどうも、引き留めてすみませんでした

クロサワ そんなことはありませんよ。ではまた、次にお会いするときに。失礼します

ナカセ お疲れ様です

サノ どうもありがとうございます(クロサワ去る)

ナカセ …これ今ワイン頼んだら自腹になりますかね？

カトウ いや、全部請求書あつちいくようになってあるからいけるんちゃう？知らんけど

ナカセ じゃあ…

カトウ いや、ナカセ。お前、DJの話すなってゆったやんけ

ナカセ あれ、そうでしたっけ？

サノ 言ってたよ(残りの料理を食べている)

カトウ どういう印象与えるかわからへんからいったんやめとこつて

ナカセ あー、そうだ。いってたわ。ほんとすみませんでした

カトウ ええけどな別に

ナカセ すみません、いつも

カトウ じゃあ、悪いけど、タバコかって来てくれるか？カートンで

ナカセ あ、わかりました。いつものやつで大丈夫ですか？

カトウ うん。頼むわ

ナカセ 了解です。じゃあ、また(出ていく)

カトウ …ここの料理まあまあやな

サノ 前のとこの方がよかったね
カトウ 確かに…この後どうする？

サノ どうするって？

カトウ 久々にどつかいいホテルでもいこなおもてたけど

サノ いいよどっちでも。ナカセ君どうするの？

カトウ まあ連絡入れとくわ

サノ あんまり邪険に扱うと拗ねちゃうよ

カトウ またカジノでも連れて行つとくわ

サノ うん

カトウ 六本木に、ええとこあるって聞いたんやけど。そこいかん？8659階建らしいわ、そこ

サノ いってみたい

カトウ じゃあ、いこか

サノ うん

サノ、カトウの腕をとって退場

4 幕 4 場 言葉のおわり

信号を作っているシーン。赤い作業を着た男や女十数人が、トラックから荷物を下してきては、城の広場の真ん中あたりに下ろしていく。めんどくさそうに、私語をしながら作業している

男 A なあ

男 B なんだよ

男 A 信号なんているのかよ。こんなちっさな島にさ

男 B さあな

男 A いらんねんじゃねーのこれ

男 B でもさ、車の出入りも増えたし、事故とか起きるかもしれないじゃん

男 A そうかなあ

男 B あ、カトウさんの車だ

作業している人たち、口々に「カトウさんの車が通るぞー」と声をかけ、荷物をどけ、脇によける
カトウの車が通りすぎていったあと、カトウが下りてくる

カトウ 作業途切れさして悪いなみんな。

男 A いや、全然大丈夫っすよ

カトウ マジで俺らみんな革命家やから。頑チヨウろうぜ。ヤマン

カトウ、車の方へ戻っていく

そこにマヒトが車を追って走ってきたが、息が切れ、立ち止まる
不安げにきよろした後、男 A に話しかける

マヒト あの、すみません：

男 A (男 B と話していた) あー、ごめんちょっと後にしてくれる？今忙しいから

男 B あその女の人の人に聞いてみな

マヒト (女 A に) あの、すみません

女 A (やや不機嫌そうに) 何？

マヒト あ、あの、アヒトがすごい熱が出て：

女 A え、アヒトって誰？

マヒト あ、俺の弟みたいなやつなんだけど

女 A とりあえず、私その辺のことわかんないから、もっと偉い人に聞いたら？ (作業に戻る)

マヒト (女 B に) あの、すみません：

女 B … (ヘッドフォンを付けているので、聞こえない)

そこに白山が通りかかる。白山は首から白い飾りのついたネックレスを付けている

マヒト (とびかかるように近寄って) シロ

白山 あ、マヒト。どうしたの？

マヒト 城に誰もいなくて…

男A (後ろから荷物を運びながら) ごめんちょっとどいてくれるかな

白山 あ、すみません(二人、舞台手前に移動) 何かあった？

マヒト あ、アヒト、アヒトがさ、おなか痛そうなんだけど

白山 風邪かなあ。寝てると思うんだけど

マヒト ほんとに痛そうなんだよ。すごくすごく絶対風邪とかじゃない

白山 …じゃあなんだろう

マヒト なんかおなかも痛そうだし、力も入らないみたいだし、しゃべり方もすごく変なんだよ

白山 分かった。ちょっと見に行くよ

マヒト 後さ、俺もヒトコも、おなか痛いんだよ。怖いよ

白山、アヒトが寝ているベットに移動する

白山 アヒト

アヒト シロや…シロ、お腹痛いねん

白山 大丈夫？

アヒト お腹痛いねん、シロ…痛いねん

白山、アヒトのおなかをさすってあげる

アヒト ヒトコもな、マヒトもやねん

白山 みたいだね

アヒト 僕ら、大丈夫かなあ。死ぬんかなあ

白山 大丈夫だよ

白山、アヒトの手を取ってあげる

そこにマヒトが入ってくる。よたよた歩いた後、倒れる

白山 （駆け寄って）マヒト？え？マヒト？

マヒト …（痙攣しながら）ヒトコ、ヒトコ倒れた。臭なっ…

白山 ちよつと、ベットで寝る

マヒト うん…

白山、鼻を覆いながらマヒトをベットに寝かせる。以下、しばらく手足を痙攣させるマヒトの荒い息が聞こえるが、次第に聞こえなくなる

アヒト （横目で白山とアヒトを見ながら甘えるような口調で）マヒト、わあな、つおいけどな、むりするときあるからな、みといたらなあかん
でって、もしゃんがな、ゆってた（白山、マヒトを寝かせ終わる）もしゃん、どこいったん？

白山 モモさんは、もう帰ってこないよ

アヒト …なんでなん？

白山 …

アヒト シロは、おるやろ？

白山 いるよ

アヒト よかったアヒトコお、シロは、おるって。マヒトも聞いた？シロは、おるってゆってるわあ。じゃあ、大丈夫やなあ。お腹、いたいけど。
お腹と、足と、頭いたいわ。もう、釣りでけへんわ。明日の朝、起きたら、僕元氣やったら、シロも、つい、いこな。つい、おしえたうわ。シヨ、
ついへたくしよやかあな。僕、あんまいなんいもできひんねんけど、ついはいじょうじゅやねん。ついな。あした、ついやな…

白山、何も話さず、アヒトの手を握っている

4 幕5場 扇島区の墮胎

スライド「扇島「区」誕生前夜」

看板 「城5周年祭り」

集会。広場に大勢の住人が集まって、酒を酌み交わしている。スーツを着たサノ、カトウ、カナイ（DJ）が櫓の上に立っている。ナカセは場内を整理している。白山は隅っこの方で座って眺めている

サノ えー、みなさん、こんばんは。（こんばんわーとまばらなりアクション）サノです。今日この日を迎えられることを、本当に感謝しております。この城の創設者であるカトウと友人たちがこの地に暮らし初めて5年が経ちます。なんと今日は、私がこの地で再び目を覚ましてちょうど一年となる、思い入れの深い日でもあります。この城の発展、とりわけこの1年の集中的な拡大によって、おんぼろ小屋のコロニーは1000人の住民を持つまでに発展しました。私は、ここに来ることで、やっと本当の自分になったのだと、感じております。実は、宴が本格的になる前にみなさんに悲しいお知らせをしなければなりません。知っている人もいるかもしれませんが、先週、最も古い住人でもある子どもたち3人、マヒト、ヒトコ、アヒトが、不慮の事故により亡くなってしまいました

白山 事故じゃないよ（誰にも聞こえない）

サノ ここで、3人を追悼して10秒間黙とうをささげたいと思います。黙とう。（広場のざわつきはやまない）ありがとうございます。今後はこのような事故の無いよう、取り組んでまいります。それでは、お待たせしました。ここでカトウより、重大発表があります

広場から爆発的な歓声が上がる。スーツを着たカトウがマイクを持つ。

カトウ どうも。おお、あらためて、こんなにいるんだ。すげえエネルギー。1万人か。いや、みんな、マジでありがとう。ヤーマン！（ヤーマン、と声が返ってくる）すげえ気がいい。いやほんとに、ただの掘っ立て小屋の、浮浪者の集団が、こんなにビッグになれて、マジで嬉しい。ちよっと、話す前に、俺の話、聞いてほしい。時間あったらみんな一人一人とゆっくり話したかったんだけど。この扇島に来るまでの、俺の話。俺は、もともと料理人で、池袋のイタリアンでバリバリ修行してた。もう毎日、どんなイタリアン作ったらおもしろいか、そればかり考えてた。ここで実績積んで、本場イタリアで修行して、自分の店を地元大阪でもつていう、まあ夢を持ってた。店の名前も考えてた。だけど、俺の高すぎるバイブスが、それなりにコネ作って、それなりに生きてただけのやつらには、うっとうしかったんだろうな。鬼干された。俺あんま細かいと気にしないタイプだからさ。だけどさ、いつのまにか俺が店の金ネコババしたことになるってわけて。店の裏に金返せってことで呼び出されたんだけど、最終的に1対18くらいで。もうフルボッコで、しょんべん臭い池袋の裏路地の自動販売機の前で、気付いたんだよ。ああ、俺ここじゃないんだなって。それでここに来た。ヤーマン（ヤーマン、と返ってくる）。バビロンから離れて、ここでラフに生きてるとさ、俺みたくにタフにやれんのにチャンス奪われたやつはむちゃくちゃってことに気付いたわけよ。だから、新しく来る奴らもグットバイブスな生活できるし、こっちはこっちで来てくれればもっとでかいことできる、っていうので、ウインウインだつてことで、お前ら来ない？って、バイブス高い

やつに声かけ始めたわけ。それがこの扇島に、1000人も人が来ることになった始まり。

白山　それを隅っこの方で聞きながら、ああ、ここはかつて僕が足を踏み入れたところとは違う場所になってしまったんだなと思った

白山が後ろを振り返ると、スーツ姿のにやにやした男が立っている。白山、にやにやした男をみつめる。

その時、大音量のダンスホールレゲエがかかり、フロアが揺れる

カトウ　5年たって、何回も言うけど俺らはマジでビックになった。これからもビックになっていきたいと思う。だからこの辺ではつきりさせたい。俺は別に反乱を起こしたいんじゃないんだよ。何かをぶっ潰したいわけじゃない。このバビロンをぶっ壊したいわけじゃない。だってバビロンが居心地がいいっていう連中もいるんだから。だけど、それじゃ楽しめない、それじゃあ本当に自分を生きられないってやつもいるんだ、そんな俺たちがここにいるんだってことを証明したいんだよ。そして俺たちが俺たちらしくあれくらいスペースは確保させてほしいってことなんだよ。ヤーマン！（ヤーマン、と帰ってくる）この辺ではつきりさせたいことがある。おれは行政なんてほんとに嫌いだったし、今だって好きじゃねえけど、でも対立したいんじゃないんだよ。そんなのナンセンスだ。本当にビッグになるためには、利用して、使い切ってやることなんじゃねえのって思ってる。もちろん闘志や曲げちゃならねえところはそのままに。だから今日ここではつきりさせておきたい。俺たちの住所を。ここはこれまで日本国神奈川県川崎市川崎区扇島。俺たちは不法占拠している浮浪者の集団。けどどうとう認めざるを得ないところまで来ちゃったんだよ。今日はつきりさせてやる。ここは川崎市扇島区。それでいい。扇島区。俺は扇島区区長でさ、笑っちゃうよな、で、みんなは扇島区の区民なんだぜ、ヤーマン！

聴衆、ヤーマンと返したり、興奮して叫んだり、踊ったりしている。ビールが配られ、みんな開ける。

カトウ　扇島区、乾杯！ヤーマン！

聴衆から「扇島区」コールが聞こえだし、それはコールを重ねるごとに大きくなっていく。みんな思い思いに激しく踊り出す。飛び跳ね、足を踏み鳴らす。しばらくその狂騒が続く

カトウ　みんな熱いねえ。鬼グッドバイブス。だけどさ、ちよっと別の話もしたいからさ、ちよっとだけ聞いてくんねえかな

「扇島区」コールが小さくなっていく。何人かは笑った後、黙る。しかし、体を痙攣させるように、踊り続けるものもある。

サノ　すみませーん、一度静かにしてください。まだもうちょっと話があるので。この後でまだ宴会の続きはあるので：

踊りは、徐々に、奇妙な、こおばったものになり、踊っているうちの何人かが踊りつかれるように倒れ始める
会場にパニックが広がっていく

カトウ　おい、みんな。サノ、これ、どうなってるの：

次の瞬間、弾丸のような雨が降る。水銀に侵された1万人の肉体は痙攣し、折り重なるように倒れていく。

櫓の上で横でカナイが倒れていくのを見ても何もできないカトウとサノ。呆然と立っている白山。にやにやした背広のクロサワが、それを見て満
足げに去っていく

暗転

スライド「こうしてカトウの城は終わっていった。

この3人だけが倒れなかったことが、

この集団中毒症状の原因を示していた。

カトウはこの1年ほとんど

東京の高級レストランで食事をしていた。

サノは既に死ねない体になっていた。

白山は

体の中の膜が

毒を通さなかった」

5幕1場　陸の涯

スライド「最終幕　海の話」

以下、スライド通りの動きを3人で繰り返す

「火葬場に再び火が灯る。これまで意味を持っていたがらくたの城は再びガラクタに戻った。1000人の中毒死したメンバーの死体を一人づつ、白山が火のある所まで運び、サノが燃やし、カトウが灰を掬ってそれを海に撒く。3人は会話を交わさない。食事もとらずにただひたすらに死体を燃やす。カトウはほかの2人に比べて仕事がないので、海を見ながらぼおっとタバコを吸っている。1000人分の骨と灰が打ち捨てられていくことによって、海は濁っていく。

そして1カ月が経ち、3人は1万人の死体を燃やし終えた。

1万人目の灰を海に撒いたカトウはタバコを一本吸おうとするがもうたばこが無くなっていることに気が付く」
カトウ、火葬場へ歩いていく

カトウ （火を消そうとしているサノに） 付けといて

サノ え？

カトウ 火、つけといて

火の前をサノが離れると、布団にもぐるようにカトウは火の中に入って、燃えていく
2人は少し驚くが、それが決められたかのようにカトウが燃えるのを眺めている。

サノ あんたも燃やしてあげようか？

白山 いや。釣りでもしようよ。久しぶりに

サノ そうね

2人で、カトウの灰を海に向かって撒く。その後、釣竿を持ってきて二人で岬に並んで腰かけ、釣り糸を垂らす。

白山 …全部、張さんの言うとおりになったね？

サノ え？

白山 張さんの、占い

サノ …ああ、あったね。そうだね。全部言ってた通りになってるね…私は死んでないし、ユーキくん…カトウさんは…ここで…

白山 うん

サノ …あ、だからシロちゃん釣りしてるのか

白山 うん

サノ 死にたくなっただの？

白山 …分かんないけど、とりあえず

サノ なんだあんたは死んでないの？

白山 …、僕はさ、体の中を膜が張ってるんだよね。

サノ 膜？何それ？横隔膜的な？

白山 いや、ちよつと違うんだけど…

サノ ふーん。そうなんだ。よくわかんないけど。だって一番最初に死んでそうじゃん。本来なら

白山 そうかな…

2人の竿が動く

サノ あ！

白山が竿を引き上げると、鈍色のナイフが針に引っかかっている。一方、サノの釣り針には灰色のコートが掛かっている。

白山 (ナイフを眺めながら) 灰で出来てるね

サノ (コートを羽織りながら) どういう意味なんだろう、これ

白山 さあ…(ナイフで指先を刺す) あ、血出た…

次の瞬間、サノ、白山のナイフをひったくり、自分の胸に当てる

サノ 私、まだこれは、試してない、からさ…

白山 …

サノ これ、刺せるんでしょ？(次第に息が荒くなっていく)

白山 …やってあげようか？

サノ ええ？(苦しそうな顔)

白山 手伝おうか？

サノ ……そうだね。これまで一人でやろうとして、うまくいかなかったから…

サノ、白山にゆつくりナイフを渡す。白山がナイフを手にとると、サノは横たわり、白山はサノの上に覆いかぶさる

白山 やるよ

サノ うん

白山、サノの心臓にナイフを沈める。サノ、苦しそうに呻く。しばらくして、サノの体の周りを、灰の溶けた血が広がる。白山、ナイフを抜き、また岬に腰かけ、海の方を向く

白山 （血の付いたナイフを眺めながら）今はもう、この海は人を殺すつてはつきり分かってるけど、だれか一番初めにこの汚れた海で釣りをしようと思った人がいたんだよね。縄文時代とか、江戸時代とか、そんな昔のことじゃなくて、工業地帯だったところ。カトウさんが来る前からこつて住んでる人がいたらしいから、だからカトウさんの前にここで釣りをした人がいたつてことだよ。ここであの子どもたちが釣りしてるの見たときはさ、誰がここの魚食べようと思ったんだろう、勇気あるなあと思ってたんだよ。でも、今、気づいたんだけどさ、ここで釣り糸を始めてたらした人は、多分一人だったと思うんだけどさ、こんなところで釣り糸をたらさなくちゃいけなかったんだね。こんなところに来てても生きなきゃいけないって、生きるために何か食べなきゃいけないって、それでこんな汚い海のものでも釣るしかなかったんだね。

白山、ナイフを海に向かって投げる。その後、自分も海に身を投げる

5幕2場 海の淵

海の中では、揺れ落ちる無数のタバコの灰が弱い昼の太陽を反射している。舞台中央で客席に背を向けてカトウが体育座りしている
白山、海の底で目を覚ます

白山 あれ…また生きちゃってる…

ヒトコ （登場しながら）まもなく開演です。ロビーにおられる方は席にお戻りください

アヒトとマヒト （上手と下手からそれぞれ登場して）お客様、こちらのお席にどうぞ（観客席の最前列中央の席を示す）

白山 （示された席に着く）これは？

ヒトコ カトウが吸っては吐いて海に捨てたタバコの灰から

マヒト カトウが吸っては吐いた、もう戻れない思い出が滲み出てるんだよ

白山 吸っては吐いた思い出

マヒト 取り出してはしまい込んだ記憶

ヒトコ 呼び出しては追いついた過去

アヒト 組み替えては元に戻した…

ブザーが鳴り、カトウの記憶が上演される。上演の間、カトウは所々頷いたりしながら見入っている

スライド「一幕 30歳」

ホテルの朝。ベットで寝ているサノ（を演じるヒトコ）と、カトウ（を演じるアヒト）。カトウはベットの端でタバコを吸っている。

サノ （起き上がって）おはよう

カトウ おう

サノ 今何時？

カトウ …（時計を見て）八時

サノ はや。朝ごはん何時までだっけ？

カトウ …（机の上の案内を見て）10時までやから、まあ9時半くらいまでに行ったらええんちゃう？

サノ …（もう一回寝る）

カトウ いやまだ寝るんかい

サノ まだ眠いもん

カトウ めっちゃ寝るな、自分

サノ だって昨日も結局3時くらいまで起きたてでしょ？

カトウ 俺はもう全然いけるけどな

サノ …タフ

カトウ まあな（タバコを消して、ベットに入り、サノの体をまさぐる）

サノ ねえ、まだするの？

カトウ 朝飯まで時間あるやろ？

机の上の電話が鳴る。舞台端で電話をかけているナカセ（を演じるマヒト）。浮かない顔をしながら時計を見ている

カトウ もー、あいついつでも間悪すぎやねん

サノ うるさい

カトウ 終わってから電話するわ

サノ 何が？

カトウ 扇島の、建設、のメイン。要

サノ バカじゃないの？

カトウ、サノに覆いかぶさる

スライド「2幕 25才」

池袋の路地裏で、横たわっているカトウ。電話をかけている

カトウ （電話越しに）おう、すまん。頼むわ

女（ヒトコ）が、どすどすとカトウの方に歩いて来る

女 ねえ、いつまでそこで寝てんの？

カトウ （ちよっとびくつとして）あ、ごめん、ちよっと切るわ（電話を切る）

女 いつまでそこで寝てんのって聞いているんだけど

カトウ 立たれへんねから、しゃーないやんけ

女 立たせてあげよっか？

女、足をカトウの頭の上に持ち上げる。カトウ、とっさに頭を手でかばう

女 動けんじゃん

カトウ 動いたなあ。俺、動けるやん

女 ほんと迷惑だからさっさとどっか行ってくん無い？

カトウ なあ、ホンマに俺がやったと思ってる？

女 え、何？

カトウ ほんまに俺がやったって、本気で思ってるの？

女 (しばらく黙って) まだ話たんないんなら、店長たち呼んでこよっか？

カトウ いや、それはもうええわ。あんなやつらと、何喋っても、しゃあないわ

女 …10分後戻ってまだいたら、店長呼んでくるから(女歩き出す)

カトウ ありがとうな

女 …はやくいけよ！(女、去る)

カトウ、なんとか体を持ち上げ、ポケットから煙草を出し、吸おうとするが、火がつけられない
そこにモモ(を演じるマヒト)が歩いてくる

カトウ よう、ブラザー

モモ なんか、元気が有り余つとる様子やな

カトウ せやで。フルバイブスやで

モモ そこに車置いてきたから、まあとりあえずいこか

モモ、カトウの肩を支え、起き上がらせる

カトウ なあモモ

モモ ん？

カトウ 海でも、見に行かん？

モモ いいね。ちょうど俺も見に行きたかったところや（歩き出す）

カトウ 渋い

本当のカトウ 渋すぎる（二人退場する）

スライド「第3幕 18歳」

体育祭。法被を着てポンポンを持った女子（ヒトコ）が登場

女子 フレーフレー、紅組

「応援団長」のタスキをかけた加藤が鉢巻締めてメガホン降って登場

女子 （手振りを付けて）フレツ、フレツ、紅組、フレツ、フレツ、紅組

カトウ ここで巻き返さな優勝ないで。みんなバイブスあげていこうぜ

女子 おー

リレーを走り終わった男子（マヒト）が走ってくる

女子 お疲れー

男子 すまん、カトウ。あかんかった。抜かれてもうた

カトウ （男子をハグして）いや、ようやくってくれた。ありがとう

女子 あ、迫ってる迫ってる！紅組、いけー！

男子 頼む！

カトウ よっしゃ（男子に肩車してもらう）バイブスー、バイブスー、紅組
3人 （手振りを付けて）バイブスバイブス紅組、バイブスバイブス紅組

観客のカトウも一緒に手を動かしている

女子 抜いた！

カトウ かましたれ！フルバイブスやー！

スライド「第4幕 9才」

子どものカトウが虫取りをしている。そこに、女の子（を演じるヒトコ）と男の子（を演じるマヒト）が現れる

女の子 あ、ユウキくんや

男の子 よう

ユウキ せみとりしよや

男の子 なあユウキくん

子 何？

男の子 ユウキくんのお父さんって、どこ行ったん？（にやにやしている）

子 え。えーつとなあ…

女の子 え、知らんの？（にやにやしている）

子 ああ、えーつとなあ…

男の子 知らんねや

子 知ってんの？

女の子 知ってんで

男の子 でも教えへんで

子 え、教えてや

女の子 教えへーん

子 なんでなん

男の子 何でもや

女の子と男の子 なあ

2人のカトウ ……教えてや

本当のカトウ 父ちゃん、どこ行ったんやろ

スライド「最終幕 3才」

白いお日様が当たるところ。父（を演じるマヒト）と、母（を演じるヒトコ）が、座っているカトウを挟んで立っている。

父 あれ、みえるか、白いの

カトウ うん

母 富士山やで、あれ

カトウ なにそれ？

父 日本で一番おっきい山や

カトウ ちっちゃいやん

母 こっから見えんのはそらちっちゃいけど、ほんまはめっちゃくちやおっきいんやで

カトウ そうなんや

父 お前も富士山みたいにおっきなるんやで

カトウ （背伸びして）もうおっきいで

母 せやな

カトウ （父に向って）おっきいやろ？

父 せやな

カトウ でもはよ父ちゃんくらいおっきになりたいわ

父 （頭を撫で）そんなんもう、じきやで

カトウ、アヒトと手をつないで舞台の奥の方へ歩いていく

マヒト （白山に）一緒に行く？

ヒトコ 帰る？

アヒト （奥から出てきて）お芝居の時間は終わったけど

白山 僕は、帰るよ

アヒト そつか

ヒトコ じゃあ

マヒト 上に行く道を見つけないと

アヒト ここまでもぐったからなあ

ヒトコ ほんとはもどれへんねんで

三人 うーん

アヒト わかった

ヒトコ じゃあね

マヒト お土産ちょうだい

白山 お土産？

マヒト うん

アヒト ここまできちやったからなあ

白山 僕のしんじやった友達の骨でもいい？

ヒトコ いいよ

白山、飲み込む動物の骨を三人に渡す。三人、順番に骨を額に当てる

アヒト これ面白いな、これ。きもちいい

ヒトコ おおー。これあつたらあつちでもあそべるわ

マヒト ほんまやなあ。じゃあ、いこか

子ども3人、手をつないで、白い光のなかへ入っていく

暗転

スライド「生きるとは緩やかに死んでいくことだから、緩やかに死んでいくことが生きていくことなのかもしれない。ミナミの入り口で目が覚めたとき、僕は生きていたとは思わなかったけど、もう少し緩やかに死んでいきたいと願ったことを、思い出した」

5幕3場 もう一度陸の涯

岬。孵化する直前の蛹に似た、白い膜に覆われた白山が息をゼエハア言いながらサノがいるところまで這ってくる。サノは灰の混ざった血の海の中に座り込んで、穏やかに笑っている。

白山 (荒い息。ナイフをサノに渡しながら) 取って、

サノ 何？

白山 膜。この白いの

サノ いいよ

サノが座りながらゆっくり膜を裂き開き、剥がしてやる。白山の呼吸が一段と大きくなる。

白山 (息を立てて横たわっている) ああ。空気だ。痛え

サノ 死ねなかったよ、私

白山 え？ああ。ほんとだ

サノ やっぱ死ねなかったよ、私

白山 うん

サノ シロちゃん、なんで死んでないの？

白山 なんだろ。膜が、あった、からで、全部、膜の、中の、話だったの、かも

サノ 守られてたんだ

白山 ああ。そうかなあ

サノ 守られてたんだよ

白山 そう、かも

サノ 私立てないみたいなんだよね

白山 え？

サノ 毒が体に回ってるみたいで

白山 ああ…

サノ 私、ここで死ぬんだと思う。死ねないけど。(間) 死ねないけど、体がこのまま腐っていったら、いなくなる気がする

白山　　いなく、なる

サノ　　死ねなくても、ここにずっといたら、私はいなくなれる

白山　　いなく、なれる

サノ　　でも、ここでいなくなっても、またどこかに、いる気もする。またそのどこかで、死ねなくて、いなくなるしかないの…

白山　　行こう

サノ　　え？

白山　　モモさんに、会いに、行こう

サノ　　モモって、消えちゃったじゃん。絶対見つからないよ

白山　　モモさんは、待ってる

サノ　　見つからないよ

白山、立ち上がって、血と灰の池の中のサノを持ち上げ、背負う

サノ　　ちょっと

白山、歩き出す

白山　　モモさんがさ、待ってるからさ。あのひと、ああ見えて、さみしがり屋だから

サノ　　…そうだね

白山　　帰ろう

サノを背負ったまま、白山退場